

## 酸性電解水の使用面における優位性

消毒剤	消毒対象物				対象微生物						
	環境	器具	手・皮脂	粘膜	一般細菌	MRSA	感受性菌	耐性菌	真菌	芽胞	HIV
グルタラル	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○
次亜塩素酸ナトリウム	△	○	△	△	○	○	○	○	○	△	○
消毒用エタノール	△	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
ウエルパス	×	×	○	×	○	○	○	○	○	×	○
イソプロパノール	△	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
ポピドンヨード	×	×	○	○	○	○	○	○	○	△	○
希ヨウドチンキ	×	×	○	×	○	○	○	○	○	△	○
クレゾール石鹼液	△	△	△	△	○	○	○	○	△	×	×
塩化ベンザルコニウム	○	○	○	○	○	△	○	×	△	×	×
塩化ベンゼトニウム	○	○	○	○	○	△	○	×	△	×	×
クロルヘキシジン	○	○	○	×	○	△	○	×	△	×	×
両面界面活性剤	○	○	○	○	○	△	○	×	△	×	×

酸性電解水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

消毒対象物 ○＝使用可 △＝注意して使用 ×＝使用不適

対象微生物 ○＝有効 △＝十分な効果が得られないことがある ×＝無効

参考文献「東邦大学医学部附属大橋病院 臨床工学部 大沢 光行 他  
第26回 日本病院備学会 (1997) 発表より」

施設内では色々な用途に応じ多種の消毒剤が使用されます。したがって、上表のように、消毒対象物や微生物に対して、どの消毒剤が適切であるかを検討しなければならず、その使用方法は多岐にわたり煩雑な仕事となっています。その点酸性電解水は、幅広い抗菌スペクトルにより、対象によって消毒剤を特定する必要も無く、取扱いの簡便性において抜群です。